

が簡単である。

前方が明るくなってくると西沢出合。そして、その先五分程で鳥川に出る。林道に登る道があったので、

これを使って上にでた。

(記・)

「タイム」 下降開始(一一:四五)↓

鳥川(一五:〇〇)

西 沢

上

一九八三年七月一日

尾根から三分程で西沢に降りる。

上部は見渡す限りナメである。二対程の小滝を確認してまずは昼食とする。

一一時三五分、下降開始。ナメが続く。途中、倒木があり歩きづらい場所もあるが、全体的にはナメである。

下降をはじめてから三五分で左から沢を合わせる。二対三で右沢の方が水量が多い。右沢もまたナメであ

る。右岸からルンゼが二本入る。それを過ぎると、釜と小滝の連続する

比較的光るいゴルジュとなる。スケールは小さいが美しい。

ナメが終わり、広い河原となる。

左岸のガレ場は大きくえぐられてい

る。次に三対の滝が出てくる。右岸

をアップザイレンで降りる。登りの時は右岸のバンド

を利用して越えることができそうである。

ある。

三〇分程で四対、五対と滝が出てくるが、いずれもクライミンググダウ

ンで降りられる。

一三時一五分、モンガク沢と出合

(記・)

「タイム」 下降開始(一一:三五)↓

鳥川(一三:二〇)

